

2022年7月8日(日)午前10時30分

《聖霊降臨節第10主日・平和聖日》

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讚美歌21』を
使用しています。

前奏	
招詞	エゼキエル書 36:26、28
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	*下記をご覧ください。
讚美	58※1, 2のみ(み言葉をください)**
交読	『交読詩編』13:2~6
信仰告白	日本基督教団信仰告白*2ページ目をご覧ください。
聖書	旧約 イザヤ書 32:15~17 (旧約1112頁) 新約 マタイによる福音書 5:9 (新約6頁)
祈り	
讚美	403※1, 2のみ(聞けよ、愛と真理の)**
説教	『平和を実現する人々』 疋田國磨呂 牧師
祈り	
讚美	371※1, 3のみ(このこどもたちが)**
聖餐	疋田義也 牧師
感謝の祈り	
讚美	81※奏楽のみです(主の食卓を囲み)
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	**讚美歌は短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来たせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

日本基督教団信仰告白

われ しん こくはく
我らは信じかつ告白す。

きゆうしんやくせいしよ かみ れいかん な あかし ふくいん しんり
旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理
しめ きようかい よ ゆいいつ せいてん せいしよ せいれい
を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊に
かみ すくい まった ちしき われ あたう かみ ことば
よりて、神につき、救ひにつきて、全き知識を我らに与ふる神の言
しんこう せいかつ あやま きはん
にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

しゅ けいじ せいしよ あかし ゆいいつ
主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる唯一
かみ ちち こ せいれい さんみいつたい かみ まう みこ
の神は、父・子・聖霊なる、三位一体の神にていましたまふ。御子は
われ つみびと すく ひと な じゅうじか おのれ
我ら罪人の救ひのために人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を
まった いけにえ かみ われ あがない え
全き犠牲として神にささげ、我らの贖ひとなりたまへり。

かみ めぐ われ えら しん しんこう われ
神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我
つみ ゆる ぎ もう かわ めぐ せいれい
らの罪を赦して義としたまふ。この変らざる恵みのうちに、聖霊は
われ きよ ぎ み むす みわぎ じょうじゆ もう
我らを潔めて義の果を結ばしめ、その御業を成就したまふ。

きようかい しゅ からだ めぐ め もの つどい
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひな
きようかい おおやけ れいはい まち ふくいん ただ の つたえ
り。教会は公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝へ、バプテスマ
しゅ ばんさん せいれいてん と おこな あい はげ しゅ ふたた
と主の晩餐との聖礼典を執り行ひ、愛のわざに励みつつ、主の再
きた もう ま のぞ
び来りたまふを待ち望む。

われ しん よよ せいと とも しとしんじょう こくはく
我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はそのひとり子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえのいのちを信ず。

アーメン。